

何をやっても楽しくて仕方ない♪ 日々を楽しむチカラ



十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員によるコーナーです

「ゆっパル」の由来
この地方の方言で「結ぶ」という意味の「ゆっばる」と、英語で「仲間・友だち」という意味の「パル」からできています。「一人ひとりの思いが結びついて仲間をつくる」という願いが込められています。

女性の個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を目指す「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が平成28年4月に全面施行されてから1年が経とうとしています。今号では、何事も楽しんで取り組む女性経営者、ササキ石油販売㈱の佐々木千佳子さんにお話を伺いました。

Interview

ササキ石油販売㈱ 代表取締役

佐々木 千佳子 さん (67歳)



ササキ石油販売㈱

所在地 奥瀬字小沢口 425-3

創業 昭和37年8月

従業員 40人

- 事業
- ・ホームエネルギー事業
- ・エコエネルギー事業
- ・住宅設備サービス事業
- ・自動車整備事業
- ・十和田湖町カーステーション
- ・セルフAM1カーステーション

持ち前の明るさで会社を切り盛りする佐々木さん。会社経営のほか、十和田湖商工会副会長、十和田湖ひめますブランド推進協議会運営委員長、十和田湖まちづくり協議会会長を務め、地域の活性化にも尽力されています。

「仕事の状況を教えてください。」

この仕事は、昭和46年に結婚してからずっと続けています。商売をしている家で生まれ育ったので、人とふれあう仕事は元から好きでした。会社経営は、義父から主人が継ぎ、14年前に主人が亡くなり、私が引き継ぎました。今は、息子が帰って来て仕事を手伝ってくれているので、引き継ぐための準備をしているような状況です。

「他に女性社員はいますか？」

もちろんです。当社では仕事に男女の差はありません。女性社員も、結婚・出産しても続けたいという本人の意思があれば支援しています。女性社員の力は大きいですよ。ガス販売は、お客さまの家庭に入る仕事です。主婦との対話が大事なので、当社では女性社員が全戸担当して活躍しています。ガソリンスタンドでは、アテンド業務（お客さまに声掛けをする仕事）で明るく接し、65歳まで働いた女性社員もいます。

「仕事をやる上で大切にしている」とはありますか？」

私は、楽家で落ち込まないタイプなんです。現状を、今を楽しんで「状況を楽しいことに変える」というのが私の信条ですね。だから仕事をストレスに感じたことはありません。仕事のほかにもいろいろやっていますが、何をやっても楽しくて仕方ありません。

社員には「らしく」を大事にしましょう」と話しています。「自分らしく」「プロらしく」…さまざまありますよね。震災の時には「当社らしく」を大事に、どうしたらこの状況でお客さまの需要に応えられるかをみんなで考えました。そのおかげでお客さまには大変喜ばれて、新しいお客さまへとつながっていきま

「女性が働くために必要なことは何だと思えますか？」

やっぱり本人の気持ちが一番じゃないでしょうか。働かなくてはいけ

◆インタビューを終えて

佐々木さんからお話を聞いて印象に残ったのは、何事も楽しんでいる姿勢でした。これは、常に新鮮な気持ちと、自分を磨く向上心を持ち合わせていないと、できないことだと思います。

本市の女性は昔から、南部裂織など生活に知恵を取り入れ、生活を豊かにする工夫を重ねてきました。でも、一番生活を豊かにしたのは、雪国の寒さにも負けない、太陽のような明るい姿だったのかもしれない。「元始、女性は実に太陽であった」*平塚らいてうの一文を思い起こすような、明るい佐々木さんに、日々を楽しむチカラの素晴らしさを教えられた気がします。

ホットな一句



「女性の起業をどう思われますか？」
女の人には、男の人が思いつかない発想力とか、すごい力があると思います。だから、まず口に出してやりたいことを言えばいいと思います。言ったら誰かがアドバイスをくれたり、助けてくれると思いますよ。そして起業したら、顧客の幅を広げていくために、宣伝をうまく行うことが大事だと思います。

「地域活性化のためにさまざまな活動をされていますが、今、考えていることはありますか？」
イヤ、毎日娘を高校まで送ってるんだよ

「さんかく日和」その9

Akemi.N



★編集後記

男女共同の時代とはいえ、まだまだ遠い現状。佐々木さんの持ち前の明るさとパワー、私も見習いたいです。(K)
今回の取材では、アイデアとやる気と行動力、全てそろったパワーを感じました。(N)
私もどんな状況にあっても、前向きに貪欲に何事も楽しんでやる気持ちを常に持ち続けたい。(F)

編集 十和田市男女共同参画市民情報誌ゆっパル編集委員 木村奈生美、中野渡明美、深谷淳子
イラスト 中野渡明美
発行 総務課広報男女参画係 ☎6702

* (ひらつからいちょう) 大正・昭和期の評論家、婦人運動家。この一文は、雑誌『青鞥(せいとう)』創刊の辞